

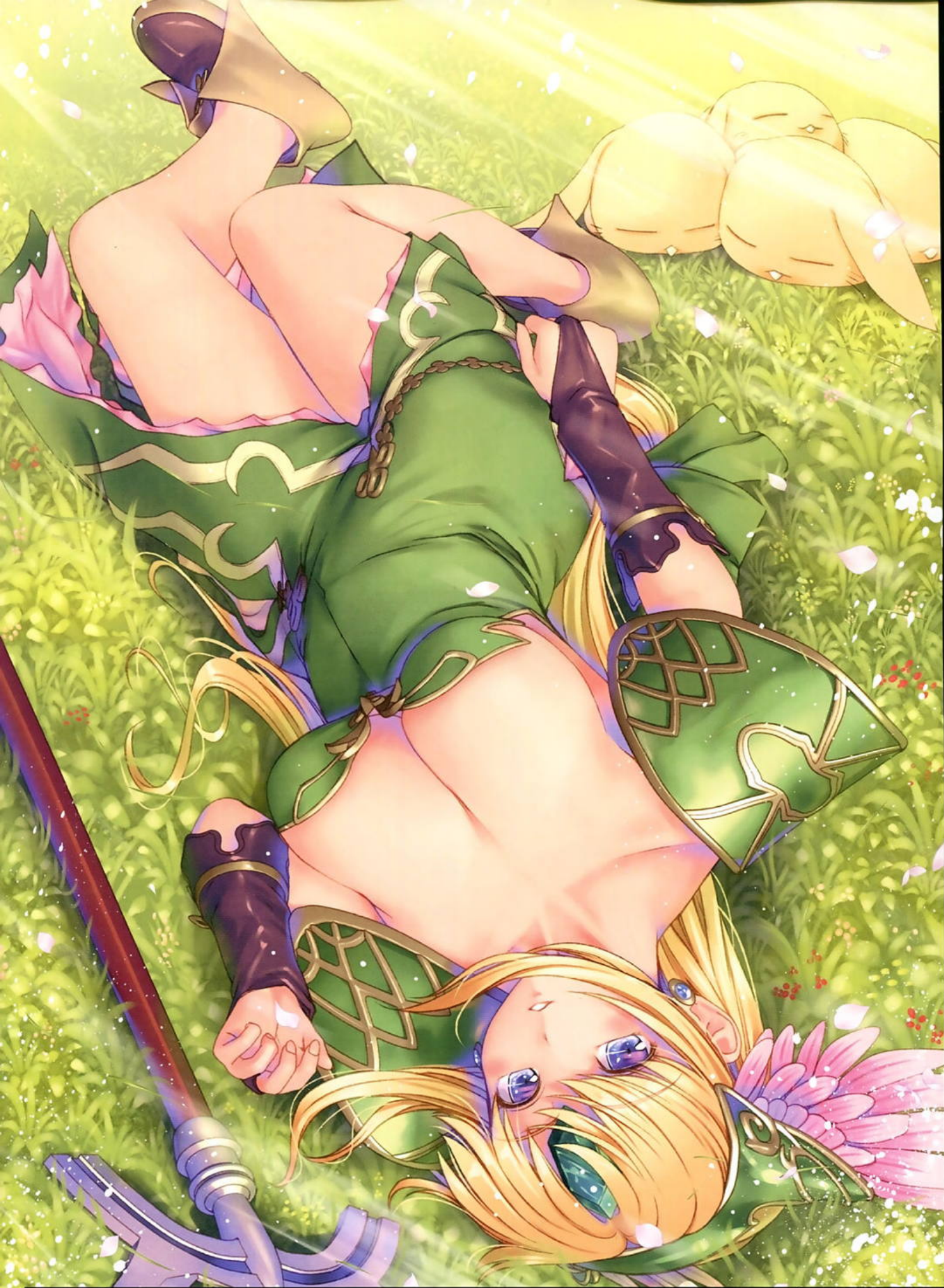
Adult Only

Riesz Odyssey

リースオデッセイ

2019 WINTER





風の王国ローラントの王女リース。何の因果か彼女の国は滅ぼされ、長き旅に出る。
リースの旅は果てしなく長く、そして苦境に満ち満ちていた…
その長い冒険の旅で彼女が体験した数々の出来事…その一部がリースの口から再び語られる。
彼女がどのような旅路に就いたのか…隠された新たな真実が明らかになる…



犯されてるッ！

ゴブリンなんかにッ…！

私ッ！

アマゾネスなのにッ！

私が旅立ってから何日か…ゴブリンとゴブリンロードに襲われました。アックスによる不意打ちに不覚にも敗北してしまったのです…彼らは当然のように私に被さってきました。彼らは鼻息を荒くして、その…お…おちんちんを…大きくしていました。どうやらゴブリン達は発情期の真っ只中だったようです…まさか人間にまで発情するなんて……
彼らは仲間を呼び次々と私に汚いおちんちんを…それは乱暴に突き上げられました。



だめッ…！
ゴブリンなんかでッ！

イクッ！
またイッちゃうッ！
だめえッ！

性器の擦れ合う音が洞窟に響いていました…ゴブリンの性欲は無尽蔵なのか行為は終らず
全身がゴブリンの精液でベトベトになるまで何時間も犯され続けました。
彼らは食人もするそうです。そういう意味では発情期だったのは幸運だったかもしれませんね。
……生き残るためにはゴブリンの交尾を受け入れてしまうしかありませんでした。
最後はゴブリン達の獣じみた乱暴なおちちんで何度も絶頂を迎えてしまいました…

A character with long blonde hair and blue eyes is shown from the waist up, completely covered in thick, green, bubbly slime. She is wearing a purple and blue outfit with a pink skirt. Her expression is one of distress and anger. In the background, there are dark green plants and a large, glowing green slime blob. A sword is visible on the right side of the frame.

こんな所で負けてられないのに！

だめ！取れないッ！

いっ息が…！

でき…な……

あの時は、分裂を繰り返し増え続けるスライムとの戦いでした。私は必死に戦ったのですが、ついに力尽き膝をついてしまいました…その瞬間飛びついてきたスライムに全身にまとわりつかれ身動きができなくなってしまいました。

スライムは私の服を溶かしながら、穴という穴から体内に侵入してきます…必死の抵抗も虚しく大量のスライムが口から容赦なく流れ込んで来ました…。私は溺れて意識を失ったようです…



どっどっどっ!!

おしり^ん
スライム出るっ!

出ちゃうっ!

奇跡的に息を吹き返した私は、なんとかその場を脱出しました…どうやらスライムの大半は私の中に入ったようでした。溶かされる前に体内のスライムを吐き出さないと…。お腹にグッと力を入れた瞬間、とても恥ずかしい音を立て勢いよくお尻の穴から吹き出しました。一体どれくらいのスライムが入ったのかわかりません…洞窟に響く排泄音は長く続きました…
……………排泄行為に似た快感が私を駆け巡り、何度か絶頂してしまったのは秘密にしてください。



えっ…!?
えっ…!?
まさかッ…!
そんなの…!
ダメッ!
そんなの入らないッッ!!!

アルテナ兵がけしかけてきたマシンゴーレムと呼ばれる魔法生物とも戦いました。私の攻撃はほとんど通じず、ゴーレムの強力な力でまたたく間に捕らえられてしまいました。アルテナ兵は私をいたぶるように命じたようです…それに応じた彼らは身動きが取れない私の性器を露出させました。まさかと思った瞬間、機械的な音を立て股間から、まるで男の人の…おちんちんのようなものがそそり立ちました…。私の腕より太かったのをよく覚えています。



やめてやめてやめてッ！

うあッ！
うああああ!!!

あッ！
あああ…！

マシンゴーレムの金属の棒が私を貫きます…内臓を下から一気に押し上げらる衝撃で悲鳴を上げてしまいました…。私のお腹はポコッと変形し、いけない所にまで入ったのがわかりました。そして彼らは回転する刃物や、薬液が入った注射器がついた腕を伸ばし、アルテナ兵の命令を忠実に遂行し始めたのです…。しばらく洞窟内は私の叫び声と機械音が響いていたと思います。その後どうなったのかは、わかりません…ゴーレムが爆発した痕跡だけが残っていました…



あッ！ あッ！
ダメッ！
もう許して…
おねがい…
あッ！

ゴールドユニコと戦うことになるとは当時は思いませんでした。非常に強い魔物であの頃の私には手も足も出ない程、あまりにも強い魔物でした。出会った瞬間、すぐに死を覚悟しました。彼らの角は私の衣服をたやすく破り、すぐさま私の恥ずかしい部分を露出させました。胸や性器を外気に晒されていきます…どうやら私が弱すぎたのか、敵として認識せず私を玩具にして弄ぼうとしていたようでした。角を太くさせ、私の性器とお尻の穴に突き入れました…



はあッ！

はあッ！

はあッ！

やだ…そんなところ…

お…お尻…だめえ…

はっ…恥ずかしい…

…こわれちゃう…

引き抜かれたゴールドユニコ達の角は、まるで馬のおちんちんのように変化していました。あんなに太くて長いものが私の中を滅茶苦茶にしていたと思うと、今も思い出すだけで身震いしてしまいます…そう…あの時の私は魔物との交わりでも性的快感を感じてしまっていたのです…ぽっかりと口を開いたままの性器とお尻から、彼らの放出した液体が垂れ落ちるのを感じました。彼らは暇をつぶすように私を玩具にし続けたのです…本当の敵…本当の侵入者が現れるまで…



だめ…だめよ…そんな…

女の子同士でなんて…

でも…すごい…

…いれてほしい……

いれてえ…おちんちん…

吸血一族のカーミラとも戦いました…やはり私には少し荷が重い相手です。カーミラ達は男性だけを誘惑する魔物だと、思い込んでしまったのが唯一の敗因かもしれません。彼女達は女である私にも誘惑を仕掛けてきたのです。女性が相手の場合は股間からおちんちんを生やす習性があるようで、その雄々しく反り立ったそれに魅入られてしまいました。私の性器は不覚にもすぐさま濡れ始め、おちんちんを受け入れてしまったのです。



はあ…
もっとお…

はあ…

もっときもちよくしてえ…

カーミラ達は私が一番感じるところを的確に責めてきました…私は今まで魔物と獣のような交尾しか経験してなかったので、その甘い性の喜びに自ら身を委ねてしまいました…
代わる代わる中に精液を出され、私が絶頂するたび生命力が吸われていきました。
カーミラ達は私の生命力を吸って満足したようで、解放されました…
私はまだまだ戦えたのに……性欲の勝負でならカーミラには負けませんでしたね。



うああ！
そんなの
入れちゃダメえ！
ひっ拡がるぅ…！

砂漠で出会ったダックソルジャー達の統率された部隊戦闘はそれは見事でした…
ソルジャーというだけあり、連携の取れた戦いで私の弱点をすぐに見抜きの確についてきます…
鉄球は私のお尻の穴に直撃し、私は思わず声を上げ仰け反ってしまいました。
お恥ずかしい話なのですが、鉄球が私の中に偶然にもそのまま入ってしまったのです…
ダックソルジャー達の統率は少し乱れたように感じました。想定外の出来事だったみたいです。



おごお!

おごっ!

鉄球は私の身体を買きました…ダックソルジャーの責めはあまりにも的確で驚きます。幾度となく絶頂に導かれてしまいました…ローラント王国のアマゾネス軍の訓練を思い出します。あの時も部下の連携攻撃に打ち負かされ、私は部下に性的な辱めを受けていました…。アマゾネス軍を率いる私が部下に負けるなど屈辱の極みでしたが、あの時の経験が私を強くしたとダックソルジャーとの戦いで痛感しました。今は亡き部下たちに感謝しないといけませんね。



あっあああ…っ！

だめえ！

ギルダーバインとの戦いは死闘を極めました…紙一重の差で私はツタに捕まってしまう…私はツタのようなニョロニョロとしたものを見るとなぜだか身体が強張ってしまうのです…理由はよくわからないのですが、絶対に勝てない…という強迫観念が私の中にあるようなのです。なにか遺伝子に刻み込まれた恐怖心があるのでしょうか…。ツタに絡まった私は当然の如く犯されてしまいます…棘つきのツタは私の性器をかき回しました。



ギルダーバインは私の中に巨大な種を植え付けてきました…まるで子供を授かった妊婦のように大きく膨れ上がりました。そう…私は遂にギルダーバインの子供を宿してしまったのです…ここで私の記憶は途切れています…私はどうやってこの状況から助かったのでしょうか…？なぜ私はここに…私は一体……す…すみません…少し休ませてください…何か…また思い出したら…おはなしします……

聖剣伝説3 TRIALS of MANA を皆で買おう!!



あとがき

どうもこんちくわ桐島サトシです。
遂にリメイクの発売が迫ってきましたね。
いやはや楽しみです。
全クラスのコスチュームも作られるので
そのへんも期待大ですね。
エロコスだと更に嬉しいところです(笑)
アンジェラも可愛いなあ。

次回もまたなにか金髪緑アマゾネスさんで
なにか作れば良いなと思います。
まだ残ってるモンスターは多いので…(笑)

それでは、またどこかで。
2019/11 桐島サトシ

FANTIA 桐の島

<https://fantia.jp/kirishima>



twitter

<https://twitter.com/mogurag>



PIXIV

<https://www.pixiv.net/member.php?id=18937>



HP

<http://alem.sakura.ne.jp/>



リースオデッセイ
発行日 2019年12月31日
描いた 桐島サトシ
発行 アレム画館
連絡先 kirisima@alem.sakura.ne.jp
HP <http://alem.sakura.ne.jp>
印刷所 栄光

18歳未満の閲覧購入、無断転載、無断アップロードなどはおやめください。
Any unauthorized reproduction, duplication, copying, or posting to
the internet (including SNS, Net Auction, and flea market apps) is prohibited.

